

# 能登のトキ通信 ～今月の観察ノート～

5月31日に羽咋市において8羽のトキをハードリリース方式で、6月14日には10羽をソフトリリース方式で放鳥しました。

ここでは、野生に飛び立った放鳥個体について、その後のモニタリング調査の結果の一部をご紹介します。

ハードリリース方式により放鳥したトキについて、6月13日、宝達志水町においてNo.572（2歳・オス）の様子を観察しました。No.572は、水田付近の木の上で休んでいました。

また、ソフトリリース方式により放鳥したトキについて、6月22日にかほく市でNo.569（2歳・オス）、6月25日に羽咋市でNo.574（2歳・オス）の様子を観察しました。

No.569は休耕田を歩きながら、くちばしで地面をつついて餌を探しており、No.574はアオサギの近くで水田の畦を歩きながらのんびり過ごしていました。

このほかの放鳥個体についても、七尾市、羽咋市、志賀町などで元気に過ごす姿が確認されています。



(木の上で休息するNo.572)



(休耕田で採餌するNo.569)



(アオサギの近くにいるNo.574)

今後も、多くの個体が能登地域に定着することを期待しながら、その様子を見守るとともに、県内の野生下で暮らすトキの姿をわかりやすくお伝えしていきます。

もしもトキを見かけたら、[観察マナー](#)を守りながら、やさしく静かに見守りましょう。

本協議会では、皆さんからの目撃情報を募集しておりますので、野生のトキを見かけたら、「[目撃情報入力フォーム](#)」のご活用をお願いします。



※当ページの画像を使用する際は「提供：能登地域トキ放鳥受入推進協議会」とクレジットを入れてください。  
なお、使用にあたって申請などは不要です。